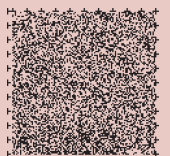




表紙デザイン作者：スケノアズサさん（イラストレーター、和歌山県紀美野町在住）

今号の  
注目記事

りいぶる★アイ 男女共同参画週間特別公開セミナー 田中俊之さん  
魅力ある女性リーダー養成講座  
特集 「コロナ下の女性たち」



センターニュースりいぶるはSPコードにより文字情報を提供しています。情報は専用の読取装置で読み上げます。





多様性の時代

男女共同参画週間 特別公開セミナー

# 女が稼ぐ、男が家事る、いいじゃないか！ ～男性学の視点から～



講師：田中俊之さん（大正大学心理社会学部准教授）

令和3年6月24日（木）和歌山ビッグ愛1階大ホール



男女共同参画週間にちなんで特別公開セミナーを新型コロナウイルス感染対策に配慮して開催しました。

講師の田中先生は、わかりやすい言葉で例え話を盛り込んで話され、充実した講演会となりました。

はじめに、講師は、自分たちの親世代は「結婚するのが普通で、結婚しないのはおかしい」という価値観を持っていたが、今は生涯未婚率が上がっており晩婚化に未婚化も加わっているという現状や、ひとり親家庭の増加、性的少数者の顕在化など時代が変化していることをあげられました。また、これからの男女共同参画の取り組みは、性別、シングル、ひとり親家庭、性的少数者、子供の有無にかかわらず、誰にとっても生きやすい社会を目指すことが必要だと指摘されました。

次に、女性が自分の収入で生活できるよう、経済的自立を果たすことの必要性を説明されました。昭和の終わり頃には女性は4人に3人が第1子出産後は仕事をやめていたが、就業を継続していくことが重要だと語られました。

また、所得も90年代には40歳代の男性が年収約500万円台であったのに対し今は400万円台と減っているの、同じ水準の生活を続けるには妻がその差額100万円を稼ぐ必要があると説明されました。続いて、日本の男女の所得は10：7と格差があるのが現状で、家族のために男性が働き過ぎていること、それを解決するためには男性自身も真剣に考えなければならないと話されました。

講師の専門の男性学について「男性が男性であるがゆえに抱える悩みや葛藤を対象にした学問である」と定義され、働き過ぎ、自殺、過労死、過労自殺、男性が平日昼間に子供と遊んでいると不審がられる「平日昼間問題」、職場以外で居場所がないなどの男性の深刻な問題を挙げられました。

次いで、これは長時間労働を当たり前と捉える意識や慣習が解決を難しくして

おり、1日8時間労働が普通となることを徹底させることが必要だと説明されました。

さらに男性は「働くしかない現実と、働いてさえいればいいという意識」から「職場、地域、家庭、個人というそれぞれの領域で居場所をつくる」ことへの変革が必要だと語られました。

また、女性の約3倍にものぼる男性の自殺にふれ、調査の結果、特に中年男性の自殺の理由は男らしさにこだわり人に相談できないことにあると解説されました。男性、女性にかかわらず、辛い時に辛いと言い、泣きたい時に泣き、疲れた時はその気持ちを表現してもよいと話されました。

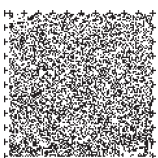
会社での実績を家電量販店のポイントに例え、A店でためたポイントは、いくらたくさんたっても、B店では使えないのと同様に、会社でためたポイントは地域や家庭などでは通用しないことを説明され、それぞれの居場所でポイントをためていくことが重要で、加えてその居場所を多く持つことも必要だと話されました。

最後に、誰もが生きやすい社会をつくるには、多様性を受け入れることが必要で、そのためにはお互いを認め合うことが大切だと話されました。さらに相手を受容するには、人に対して無関心な消極的寛容ではなく、自分とは異なる人への敬意や人と人の交流のなかで理解が生まれる積極的寛容をもつことが重要だと締めくくられました。

誰もが生きやすい社会は、まさに男女共同参画社会が目指すところです。たとえ考えが違っても、話し合うことでお互いに理解し合える社会でありたいですね。

## ◆ 参加者からの声～アンケートから抜粋～ ◆

- ▶ 「男女共同参画を男性学の視点から考えることに興味を持った。」
- ▶ 「ご自身の家庭や調査結果などを具体例として取りあげわかりやすかった。積極的寛容のために、人と関わるのが重要だと感じました。」
- ▶ 「今日の講演内容のような考え方が広く世間に浸透していくことを望みます。」





## 魅力ある女性リーダー養成講座

## Part 1 スキルアップ講座「アサーティブコミュニケーションを学ぼう」

令和3年7月16日（金） 会場：“りいぶる”会議室A

講師：谷水美香さん（ヒューマン・トータルサポートリンと代表  
アサーティブコミュニケーショントレーナー / 精神保健福祉士）



講師は、「コロナ禍でテレワークが広がり、家族で過ごす時間が増えたことで、女性の家事・育児負担も増加した。女性が結局1人で抱えてしまう。こういう時に『アサーティブネス』を知っていると役立つ」と話され講座を始められました。

まず参加者が、個々のコミュニケーションの癖（「攻撃型・受身型・操作型」）について気付く時間を持ちました。その上で、アサーティブ型とは自分の考えや要求などを相手に率直に伝え、相手の言い分にも耳を傾けることができるコミュニケーションであると説明されました。アサーティブネス実践のための心構えとして、①「誠実」（自分の気持ちに正直になる）、②「対等」（立場や役割に上下関係があっても、それは違いであり、人としての優劣ではない）、③「自分の責任」（コミュニケーションの責任の半分は自分にもある）、④「率直」（伝えるときは、簡潔に整理して伝える）が大切であると説明されました。参加者は自分の経験を基に、講師からアドバイスをもらいながらロールプレイをしました。

最後に、「問題は小さいうちに伝える。」「大切なのは自分の意見を伝えることで、相手に『うん』と言わせることではない。」「強い抵抗があったら一旦会話を切り上げて次の機会を作るなど無理をしない。」というアドバイスで締めくくられました。



## 【参加者の声】

- ・コミュニケーション、人に何か（自分の気持ち）を伝えることの難しさが分かり、対応方法も学びました。又、新しい仲間に出会えて嬉しかったです。
- ・「アサーティブネス」という言葉も初めて聞きましたが、実践してみようと思えました。相手にどう伝えるか非常に大切なことで効果も大きいと思います。

## 語り合い広場

## ～アンガーマネジメントで学ぶ～「怒りやイライラとの付き合い方」

令和3年7月24日（土） 会場：“りいぶる”会議室A

<講師> 内野しのぶさん（Smile Stage 代表 / アンガーマネジメントファシリテーター・コンサルタント）



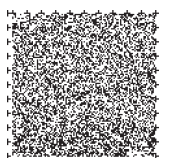
新型コロナウイルス感染拡大が続き、日常における私たちのイライラや怒りの頻度があがるなか、アンガーマネジメントを知ることで、怒りの感情との上手な付き合い方を学ぶ講座を開催しました。まず、「アンガーマネジメント」とは、怒りの感情により後悔しないことで、怒る必要のあることは上手に怒り、怒る必要のないことは怒らなくなるようにすることだとの説明がありました。また、怒りの感情は自然な感情（防衛感情）なので必要があることには怒っていいのだと話され、これは新しい発見でした。

個人ワークで自己分析をしながら怒りの正体を探り、苦しい、辛い、疲れた等のマイナス感情を背景に自分のなかの信念や価値観、期待等が裏切られた時に怒りになると話されました。怒りをコントロールする6秒ルールや、怒りに点数をつける方法も教えていただき、怒る必要があると判断した時は、感情に流されず上手に自分の気持ちやリクエストを伝えることが大事だと学び、職場や日常生活に活かせる講座となりました。

参加者は終始、うなづいたり、メモを取ったり熱心に受講され、熱気あふれる2時間でした。

## 【参加者の声】

- ・アンガーマネジメントの3つのコントロール法を教えて頂き、今までより怒りと上手に付き合い楽しく生活したいと思いました。
- ・怒ってしまうと思った時の対処を知れてよかったです！今日からためしてみようと思います。
- ・怒りが自分でコントロールできることを知り、是非日常で実践して、人生を豊かに変えたい。



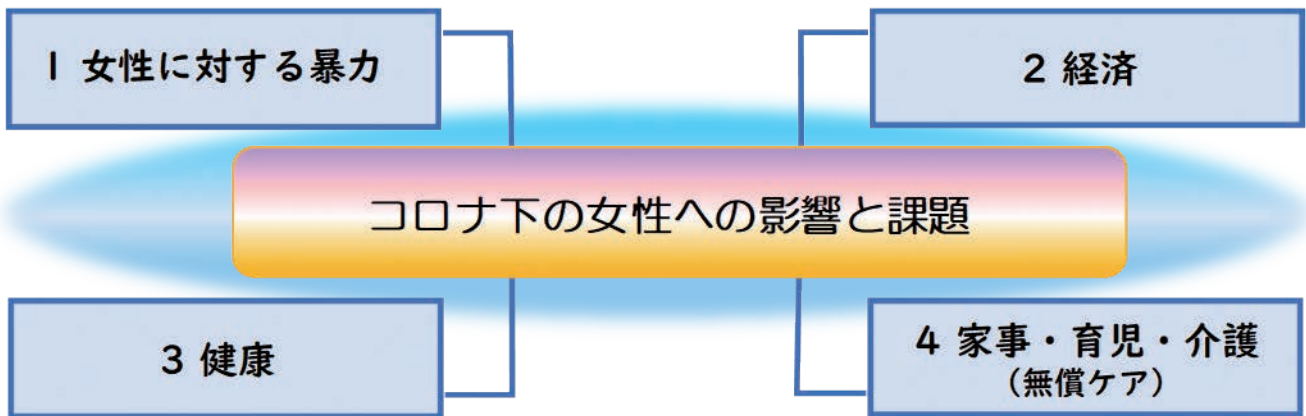
# コロナ下の女性たち

2020年、世界中に広がった新型コロナウイルスの感染。日本では、2020年3月に全国の学校が一斉休校。同年4月には緊急事態宣言により、不要不急の外出の自粛が求められ、大型施設や百貨店・映画館・劇場など人が集まる施設の使用制限、一部では仕事が通勤型から在宅ワークへと私たちの生活は大きく変化しました。そしてワクチン接種が進められている現在もまだ終わりの見えない不安定な日々が続いています。

内閣府男女共同参画局でも「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」（以下「研究会」という）を設置し、調査・研究を行っています。

研究会報告書を基にコロナ下における女性たちが抱える問題と、特に女性への深刻な影響について考えていきましょう。

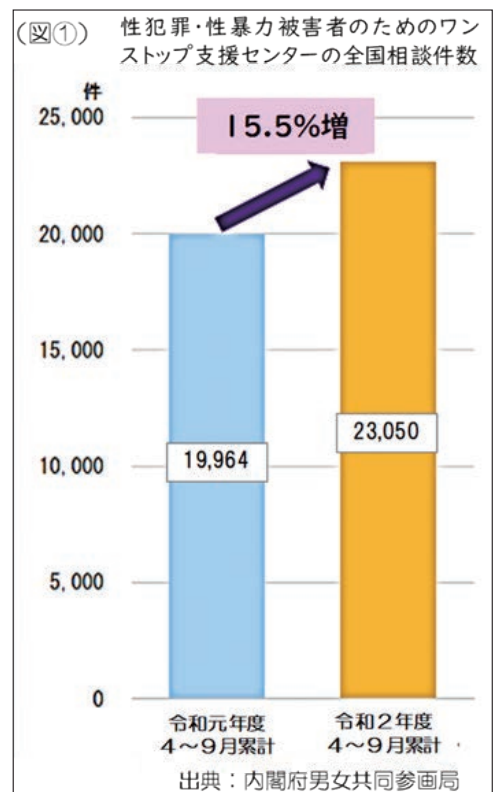
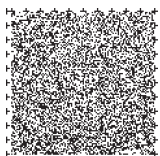
**コロナ下の社会が女性に与えた影響は、大きく分けて次の4つが考えられています。**  
(研究会報告書より)



## 1 女性に対する暴力

不要不急の外出自粛要請やテレワークへの移行により、家族が家の中で過ごす時間が増えました。またコロナ下の不安・ストレスの影響もあり、配偶者によるDV（家庭内暴力）が激しくなるなどの相談が全国の配偶者暴力相談支援センターやDV相談プラス※に寄せられました。相談件数は、前年の同時期と比べて約1.5倍と増加しています。相談内容としては、身体的暴力だけでなく、言葉による暴力（精神的暴力）や各家庭の世帯主に支給された特別定額給付金を夫が渡してくれなかった、浪費してしまったという相談（経済的暴力）がありました。また離婚が成立せずに別居しているため、給付金が妻の手に渡らなかったという状況も起こりました。

こうしたDVは新型コロナウイルス感染拡大以前からの課題でしたが、感染拡大以降、相談件数が増え、また10代～20代の若者を中心に、性犯罪・性暴力被害の相談件数も前年同期より約1.2倍増加しており(図①参照)、居場所を失った女の子、女性がSNSなどで出会った見知らぬ相手から被害に遭うケースや、望まぬ妊娠や自殺につながるといったリスクも想定されます。



※一般社団法人社会的包摂サポートセンターによる、配偶者やパートナーからの様々な暴力について専門の相談員が対応するサポートです。



## 2 経済

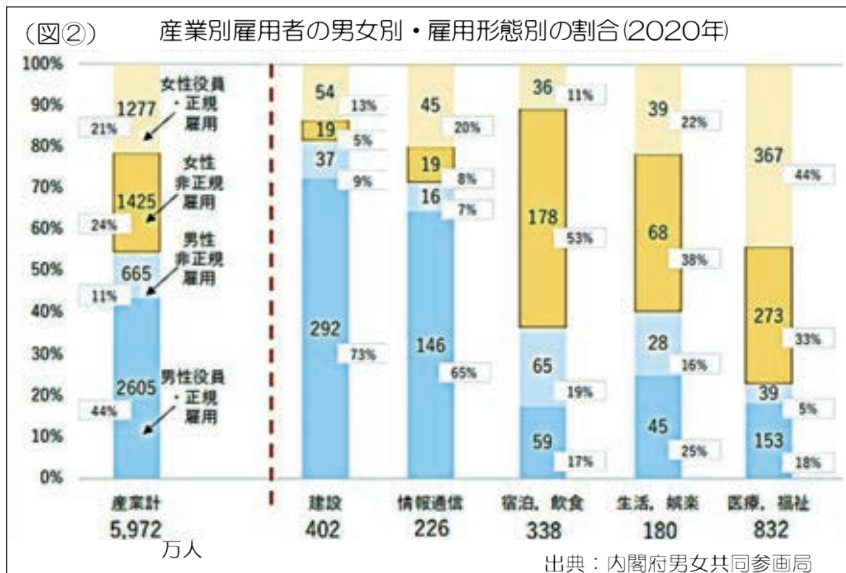
女性はもともと男性に比べて非正規雇用で働く人の割合が高く、なかでも今回大きな打撃を受けている「宿泊、飲食」「生活、娯楽」の業種についている女性は非正規雇用の割合が高くなっています（図②参照）。緊急事態宣言時の休業要請・不要不急の外出自粛により、これらの業種についていた非正規雇用の女性が解雇されたり休職させられたりしました。

コロナ下で、医療・介護、保育の従事者などのいわゆるエッセンシャルワーカー※1

の社会的な重要性が高まっていますが、看護師の92%、訪問介護員の約79%、施設介護職員の70%が女性の医療・介護従事者です。感染への不安を抱えながら、厳しい環境で働くエッセンシャルワーカーの処遇改善への取り組みも求められます。

また、在宅勤務・テレワークの実施が急速に進みました。女性就業者は家事の増加、自分の時間の減少等マイナス要素を感じ、男性就業者は通勤負担軽減等プラス要素を感じる割合が高いことから、男女で受け止め方が異なっています。しかし、柔軟な働き方の観点、育児・介護と仕事の両立という点で有効であるため、正規・非正規の雇用形態の違いのみでテレワーク対象者を分けないよう配慮しながら活用を進めることが必要とされています。

※1…主に医療・福祉、流通、通信、公共交通機関など、緊急事態下でも人々の日常生活を守るために必須となる仕事に従事する人々に対する、感謝や尊敬の念を込めた呼称。



## 3 健康

令和2年7月以降、女性の自殺者数が対前年同月比で増加しました。依然として、女性より男性の自殺者の方が多くなっていますが、前年度と比べると女性の増加は異例と言えます（図③参照）。特に、主婦と女子高生が増加していますが、その背景には、主婦の場合は、育児・介護疲れやDVの深刻化、経済的理由などが考えられます。

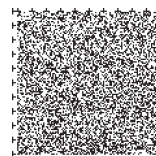
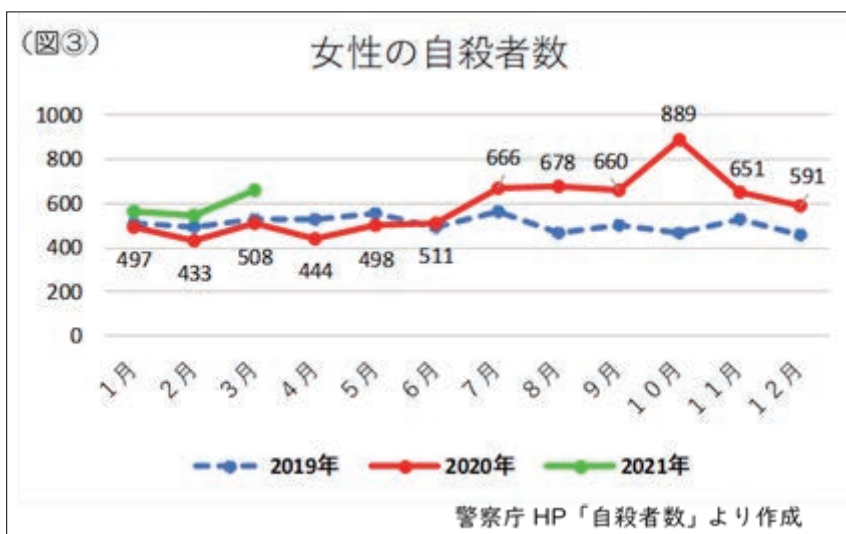
また、コロナ感染に対する不安は女性の方が男性より強く感じています。その要因

として、ひとつは、医療・介護福祉関係や接客関係など人と接する機会が多い業種における女性の感染者割合が高いこと、他には子育て世帯において（緊急事態宣言中の不安として）女性が家事・育児・介護の負担が大きすぎると感じていたり、健康を守る責任が大きすぎると感じていたりすることなどがあげられます。

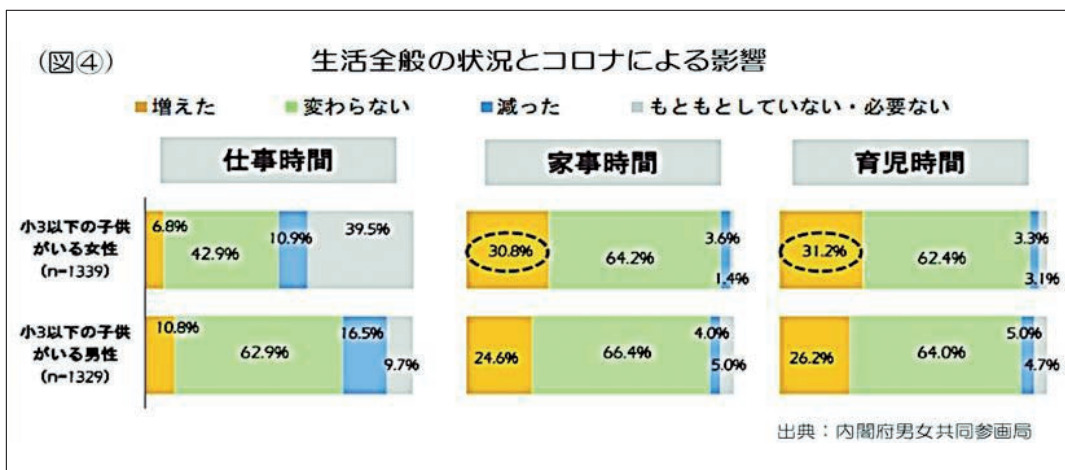
## 4 家事・育児・介護（無償ケア※2）

学校の一斉休校などにより、子供たちが自宅で過ごしたり、また定期的に介護施設を利用していた家族が自宅で過ごす時間が増えたりしたことで、急遽仕事を休まざるを得ない女性が多くいます。また、夫婦でテレワークになった場合も、昼食の準備は女性が担うなど、妻自身も自宅での会社の仕事を抱えていながら、家族の世話に時間をとられ、コロナ前より負担が増えています。

※2…無報酬であるがゆえに重要性や価値が十分認められていない家事、育児、看護、介護等の家庭内労働。



図④は第一回緊急事態宣言中における時間の使い方の変化を表したものです(小学校3年生以下の子供がいる有配偶者の方が対象)。小3以下の子供がいる家庭において、女性で「家事・育児時間」が「増えた」と回答した人が



30%を超えており、負担が大きかったことがわかります。一方で、男性も「家事・育児時間が増えた」が25%前後ありますが、それでも女性より5%程度低いのが実情です。

女性が無償ケアを多く担っていることは、家庭において未だ男女の不平等があることの現れと考えられ、家庭内の固定的性別役割分担意識がなくならなければ、テレワークなどの柔軟な働き方が進んでも、女性の活躍にはつながりません。しかしながら、もともと家事・育児に関わる時間が少なかった男性の家事・育児時間が増えたとの回答が約25%ありました。また、夫婦の家事・育児の役割分担が変化したとする家庭が約26%あり、「夫」または、「夫と妻」の役割が増加したことで「夫婦の関係が良くなった」と回答した世帯は約42%あったという報告もあります。

この研究会の報告から、コロナ下でデジタル革新が進んだことや、家族の時間が増えたことで、家事・育児参画について改めて考える機会になったと言えます。そして、コロナ下での女性が抱える問題の根底にジェンダー（男女の社会的性差）が影響していることがわかりました。これを機に、男女共同参画社会の実現に向けて、以前には見えていなかった暴力被害や、経済的自立などの女性の課題を一人ひとりが受けとめ、どう向き合っていくかを考えることが大切ではないでしょうか。

## “りいぶる” 図書室

## ☆スタッフおすすめ図書☆



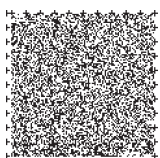
### ヒゲとナプキン



著者：乙武洋匡  
杉山文野  
出版社：小学館

著者がいま一番伝えたいLGBTQの物語。女として育てられ、現在は男として生きる28歳の主人公“イツキ”。

ある日、ふとしたきっかけで職場の同僚に“女”であった過去を知られてしまう。その上、パートナーの“サトカ”の出産への思いを知り、現実と真正面から向き合うことになる。葛藤の末に辿り着いた“イツキ”の本心が導き出した答えとは？



### かしこくて勇氣ある子ども



著者：山本美希  
出版社：リイド社

初めての子どもを迎える時、誰しもその子の将来に夢を膨らませない親はいないだろう。本書に登場する夫婦も「かしこくて勇氣ある子ども」になれば明るい未来が約束されると信じた。

しかし、マララさん銃撃事件の報道に触れ、彼女は「かしこくて勇氣ある子ども」だったが故に標的になったのではと、子供の将来を案じ動揺する。女性の姿を描いてきた著者による、示唆に富んだ新しい感覚のコミック。

### コロナと向き合う 私たちはどう生きるか



著者：婦人之友社編集部  
福岡伸一、山中伸弥、海原純子、ロバート・キャンベル、湯浅誠、辻信一、あさのあつこ、中村秀明、末吉里花 ほか  
出版社：婦人之友社

2020年3月～8月にかけて国内外のコロナ禍の社会で感じた危機と恐怖や、人類の未熟さと向き合うことの必要性を綴ったメッセージと書き下ろしを加えた全16編。

日常を奪われた私たちは、人間も地球上の自然の一部であることや私たちの社会は思いのほか脆弱であったこと、そして見て見ぬふりをしてきた多くの課題に直面している。今私たちが次の世代に何を残せるかを考えさせられる一冊。





# SDGs (エス・ディー・ジーズ) を知ろう! ③

8 働きがいも  
経済成長も



達成目標

## 目標8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する

- 8-1 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。
- 8-2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
- 8-3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。
- 8-4 2030年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する10カ年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。
- 8-5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。
- 8-6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
- 8-7 強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。
- 8-8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
- 8-9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
- 8-10 国内の金融機関の能力を強化し、すべての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。

外務省 HP より



最近、ちょっと“気になる”この言葉 ~おしえて! フクロウ博士!~



### ◆アンコンシャス・バイアス

誰もが持っている無意識の思い込みのこと。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうち脳にぎざみこまれ、既成概念、固定観念となっていく。「血液型をきいて、相手の性格を想像することがある」「男性から育児や介護休暇の申請があると、『奥さんは?』と咄嗟に思う」などが例に挙げられます。

(内閣府男女共同参画局より)

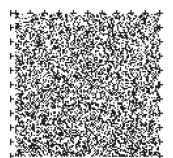
### ◆マミートラック

子育てをしながら働く女性が、様々な制約のある働き方を理由として、仕事における役割や業務内容まで限定されてしまい、従来のキャリアコースから外れてしまうことを指します。(総務省自治行政局公務員部より)

“りいぶる”では、講座開催時は、受付にて受講者のみなさんに検温をお願いし、手先の消毒・マスク着用のご協力をお願いしています。また会場は常に換気に努めています。

また、図書・交流スペースでは、入り口に消毒液を設置し、マスクの着用をお願いしています。定期的な換気も行っていますので、体温調節が可能な服装でお越しください。

貸会議室は利用人数を通常の半分にし、換気・消毒等を徹底しています。



自分を大切にするために…。 “りいぶる” 相談室  
**相談受付専用ダイヤル 073(435)5246**

相談は無料。専門の相談員がお話をうかがいます。  
 秘密は厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

**総合相談**

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に男女共同参画相談員が応じます。

**電話相談**

- (火)(水)(木)(金)(土)○ 9:00～20:30 (受付は20:00まで)
- (日) 9:00～17:00 (受付は16:30まで)

**面接相談【予約制・女性のみ】**

- (火)(水)(木)(金)(土)○ 9:00～17:30 (受付は16:30まで)
- (日) 9:00～16:00 (受付は15:00まで)

**女性のためのカウンセリング**

女性が抱えるこころの問題に女性カウンセラーが応じます。

**面接相談または電話相談**

- (金)○○ 13:00～15:40 ※第2・第4金曜日
- 予約制、各日3人まで。  
 相談時間は1人40分。

**女性のための法律相談**

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に女性弁護士が応じます。

**面接相談のみ**

- 月3～4回 13:00～14:50
- ※日程は“りいぶる”までご確認ください。
- 予約制、各日3人まで。  
 相談時間は1人30分。

**男性のための電話相談**

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に男性相談員が応じます。

- (水)○○○○ 16:00～20:00 (受付は19:30まで)
- ※毎月第2水曜日  
 予約優先(匿名可)  
 相談時間は1人40分程度

性暴力について  
 相談したい…

**性暴力救援センター和歌山**  
 マイン  
**わかやま mine**

(和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

オーエンキューキュー  
**073-444-0099**

- 相談 毎日/9:00～21:30
- 緊急医療 毎日/9:00～22:00

こころとからだの回復のために、女性支援員が細やかな支援を行います。  
 ひとりで悩まずに相談してください。

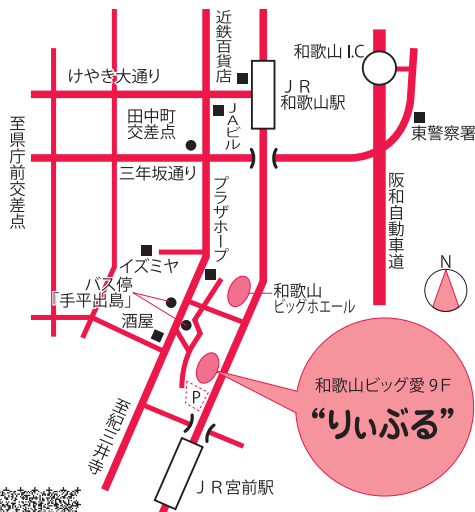


☆表紙デザインについて☆

作者のスケノアズサさんは、美大を卒業後、似顔絵作家として活動。新婚旅行で世界一周し、その時出会った山岳民族の暮らしに憧れ、帰国後、和歌山県紀美野町に移住。現在、毎日新聞にてイラストコラム「カントリースケッチ」と育児4コママンガ「ペコモコちゃん」を連載中。2019年大桑文化奨励賞、2020年第21回ピンポイント絵本コンペ最優秀賞を受賞。

表紙は、黄金色のススキ野原に立ち、空を眺めると、夕日に染まったピンクやムラサキのうろこ雲が広がっています。風を感じるゆったりとした秋の風景です。

“りいぶる”はフランス語で「自由な (libre)」という意味で、センターの愛称です。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター “りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2  
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245  
 FAX (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時  
 日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 月曜・祝日  
 年末年始(12/29～1/3)

りいぶる  検索

フェイスブックも更新中♪

一企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんばんにい